



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2016年 10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

第20回日本太鼓全国フェスティバル ～千葉県四街道市で開催～

7月10日(日)第20回日本太鼓全国フェスティバルを千葉県四街道市の「四街道市文化センター」にて、900人の観客を前に盛大に開催いたしました。

このフェスティバルは日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、千葉県支部が主管となり、文化庁のほか、千葉県、四街道市等地元の後援をいただきました。

当日は天候にも恵まれ、開場の1時間以上も前からお客様が列を作られるなど、全国フェスティバルに対する期待が伺えました。受付では熊本地震に対する支援金の呼びかけが行われ、多くのお客様からご支援をいただきました。

公演は、主催者を代表して当財団の塩見和子理事長の挨拶と四街道市の佐渡斉市長のご祝辞、主管の千葉県宮崎義政支部長の挨拶と続き幕を開けました。続いて全国トップレベルの10チームが渾身の演奏を披露しました。以下出演団体をご紹介します。

1. 千葉県合同チーム(千葉)・・・千葉県支部加盟団体から選ばれた56名が一つとなり成田太鼓祭において、成田山新勝寺へ奉納する「平和の祈り」を演奏、その迫力に会場から大きな拍手がおくられました。



2. 愛宕陣太鼓連響風組(福島)・・・1994年夏、福島市において、創作和太鼓に情熱を懸ける男達により「愛宕陣太鼓連響風組」を結成。一心不乱に打ち込み、心に響かせる太鼓をみせて頂きました。



3. 加茂綱村太鼓(宮城)・・・仙台市にある加茂神社を遷宮した伊達家第四代藩主「伊達綱村」公から名前を取り1996年に発足しました。仙台名物「雀踊り」を中心に笛と踊りで楽しませて下さいました。



4. 助六太鼓(東京)・・・江戸の祭り情緒を思わせる粋で勇壮な楽曲、踊るように打ち込む「助六流」と呼ばれる独特で華麗な太鼓を披露して頂き、観客を魅了していました。



5. 倉敷天領太鼓(岡山)・・・倉敷を本拠地として国内はもとより海外でも活躍している実力を発揮していただきました。迫力ある大太鼓に笛を交えた演奏でお客様は大喜びでした。



6. 手取穴龍若鮎組(石川)…本年3月に大分県で開催した第18回ジュニアコンクールの優勝チームです。古来より、地域に伝わる「虫送り太鼓」のリズムに会場から大きな声援が飛んでいました。



7. 銚子はね太鼓保存会(千葉)…地元、千葉県の銚子市に古くから伝わる伝統太鼓のチームです。客席より演奏しながら賑やかに登場し、舞台上で飛んだり跳ねたり演奏は迫力満点でした。



8. 富岳太鼓(静岡)…日本一の霊峰富士の麓、御殿場市に1977年、社会福祉法人富岳会で障害者のセラピーとして始まった太鼓です。今回は、施設職員のみで演奏していただきました。



9. 御陣乗太鼓保存会(石川)…1961年に輪島市、1963年には石川県の無形文化財に指定されたチームです。お面を被った幽玄で独特な演奏スタイルに観客は引き込まれていました。



10. 橘太鼓「響座」(宮崎)…太陽の国・宮崎の大自然や歴史、文化、人の心などを太鼓に託し、力強い鼓動を伝える迫力満点の演奏に、会場から大きな歓声が沸きました。



フィナーレは、財団名物となった出演者全員による手締めです。舞台狭しと140名を超えるメンバーが塩見理事長の音頭でお客様と3本締めの後、出口で送り太鼓と共に勢揃いをしてお見送りをいたしました。



(フィナーレの様子)

次回は国立劇場で開催！

第21回日本太鼓全国フェスティバルは、財団設立20周年を記念し、来年2017年9月21日(木)、東京都の国立劇場大劇場にて開催いたします。

全国から14チームに出演して頂き、夕方から開催を予定しております。多くの太鼓愛好者の皆様のご来場を心よりお待ちしております。詳細は、財団ホームページにてお知らせいたします。

*千葉県支部の宮崎支部長より、フェスティバルについての感想をご寄稿頂きました。

第20回日本太鼓全国フェスティバルを終えて

日本太鼓財団千葉県支部 支部長 宮崎 義政

2016年7月10日「第20回日本太鼓全国フェスティバル」を千葉県で初めて開催することができました。本年は千葉県に太鼓の連盟を設立した20周年の節目の年で、念願であった全国のトップチームを招いての太鼓フェスティバルが開催でき、支部一同感謝をして準備をいたしました。

そして大会を迎え、リハーサル、ゲネプロ、本番と徐々に集中力が増していく演奏を目の当たりにしました。その選抜かれた精鋭による技と歴史のある日本太鼓の真髄をお客様に堪能していただきました。また、その最高の演奏に舞台スタッフの転換の息をピタリと合わせ、最良の公演とすることができました。

20年を振り返ると、このようなスタッフの絆が出来たのも、設立より共に歩んで来た「成田太鼓祭」のお陰でした。まちおこしを和太鼓で応援し、「揃打ち」「挨拶演奏」「パレード演奏」など様々な試みをする事で、支部の結束力も強まりました。当日の祝電で、経済産業省の林幹雄大臣からも太鼓による経済活性の可能性に大きな期待を寄せていただきました。

今回の日本太鼓全国フェスティバルで体感した技に刺激を受け、またスタッフとしての役割を務めたことを誇りに持ち、千葉県支部一同、今後も太鼓の可能性を追求していく糧となりました。21年目に向けて飛躍してまいります。

結びに、本大会の開催に当り、ご尽力を賜りました(公財)日本太鼓財団、日本財団、経済産業省、文化庁、千葉県、四街道市をはじめ、関係各位に対しまして御礼を申し上げます。



(開会式で熊本地震の支援金を呼びかける宮崎支部長)

熊本地震支援金 追加一覧

8月1日以降にご協力頂いた追加の支援金の一覧をお知らせし、ご協力に感謝します。(順不同・敬称略・財団登録名)

いただいた支援金は合計446,096円です。(総額6,859,870円)

■北海道央支部

厚別本陣はまなす太鼓
澄川太陽太鼓
迫分いぶき太鼓
のぞみ太鼓
栗の木太鼓同好会
橋本流地獄太鼓和太鼓會
札幌新琴似太鼓保存会
藤野太鼓
新発寒ふるさと太鼓
山口太鼓流北海若衆太鼓

■宮城県

TBCハウジング ザ・モール仙台長町
サイド「緑と風のガーデン」
仙台八坂神社
仙台市宮城野区岩切地区
利府町青山地区
利府町葉山地区
利府町神谷沢地区
利府町しらかし台地区

■秋田県支部

合川太鼓保存会
高山太鼓白神会
井川桜爛太鼓創作会
田代太鼓振興会
いずみ太鼓の会
鳥海前の沢太鼓保存会
彌高太鼓の会
成瀬仙人太鼓
櫻林御鷹太鼓
仁賀保太鼓伝承会
大内太鼓
能代べらぼう太鼓
大館曲げわっぱ太鼓
羽川剣ばやし保存会
筑峰太鼓の会
大曲太鼓道場
東今泉八幡太鼓
大森太鼓愛好会
日住太鼓

金沢八幡太鼓保存会
峰神太鼓
唐松太鼓保存会
祭鼓連
刈和野大網太鼓
御嶽清流太鼓保存会
河辺太鼓保存会
やまばと太鼓
象潟九十九島太鼓
雄和太鼓保存会
菖蒲太鼓保存会
湯沢南家佐竹太鼓
消防太鼓隊
横手かまくら太鼓
仙北太鼓
蘭導
大雄太鼓愛好会
龍勢会
鷹巣ばやし普及会
和太鼓集団E N

■愛知県支部

鯉龍太鼓
尾張新次郎太鼓保存会
清洲町伝統芸能保存会
海東流神楽太鼓保存会
三河神富太鼓
願成観音太鼓保存会
三河神明太鼓
松平わ太鼓
転輪太鼓
杉浦太鼓
堀田新五郎商店

■青森県支部

遊びつ鼓組“遊”
鳥城こみせ太鼓
王将太鼓
津軽情っ張り太鼓
津軽深浦北前太鼓
八甲田太鼓愛好会
みちのく中世太鼓
みよこ太鼓
龍神太鼓保存会
県立名久井農業高校郷土芸能部

■その他

大学太鼓フェスティバル募金

第1回大学太鼓フェスティバルを開催

9月2日(金)財団事業として初めての実施となる第1回大学太鼓フェスティバルを、東京都港区の「草月ホール」にて、満員となる300人の観客を前に盛大に開催いたしました。

この大学太鼓フェスティバルは、18歳以下を対象とした日本太鼓ジュニアコンクールが盛んになる一方で、高校卒業以降の太鼓活動を支援するため、当財団主催、関東地区の大学生が中心となった大学太鼓フェスティバル実行委員会が共催となり、日本財団の助成事業として実施いたしました。

公演は、主催者を代表して当財団の塩見和子理事長、共催の加藤雄大実行委員長の挨拶と続き演奏が始まりました。

今回は、第1回のため、出演団体も来場されるお客様の数も予想が難しい中での開催となりましたが、関東圏の9チームに加え、将来の大学生として、3月に開催したジュニアコンクールで特別賞を受賞した東京都立美原高等学校和太鼓部の皆さんにも出演して頂きました。

いずれのチームも大学生ならではの滲刺とした若さあふれる演奏を披露して下さいました。多くが大学生自身で構成した演奏で、各大学の個性が感じられました。

来年の大学フェスティバルが楽しみに感じられる公演となりました。

<出演団体一覧> ☆特別出演

- 1 武蔵野大学和太鼓同好会 隼(東京都西東京市)
- 2 東京農業大学和太鼓同好会
山響鼓(神奈川県厚木市)
- 3 文教大学和太鼓集団打組
『出津龍』(埼玉県越谷市)
- 4 和光大学わ太鼓サークル
竜鼓座(東京都町田市)
- 5 筑波大学ときめき太鼓塾(茨城県つくば市)
- ☆6 東京都立美原高等学校
和太鼓部(東京都大田区)
- 7 東京理科大学和太鼓サークル
樹(千葉県野田市)
- 8 西武文理大学 鼓月(埼玉県狭山市)
- 9 立教大学 邦楽サークル
「合唱団アヒル会」(東京都豊島区)
- 10 文教大学和太鼓部 楓(神奈川県茅ヶ崎市)



(武蔵野大学和太鼓同好会 隼・東京都)



(東京農業大学和太鼓同好会 山響鼓・神奈川)



(文教大学和太鼓集団打組『出津龍』・埼玉)



(和光大学わ太鼓サークル 竜鼓座・東京)



(筑波大学ときめき太鼓塾・茨城)

次回は文京シビックホールで開催!

第2回大学太鼓フェスティバルは、来年2017年8月31日(木)、東京都の文京シビックホールにて開催いたします。参加を希望される団体は、財団事務局(Tel. 03-6229-5577担当: 印出、笠原)までご連絡下さい。全国からのご参加をお待ちしております。



(東京都立美原高等学校 和太鼓部・東京)



(立教大学 邦楽サークル「合唱団アヒル会」・東京)



(東京理科大学和太鼓サークル 樹・千葉)



(文教大学和太鼓部 楓・神奈川)



(西武文理大学 鼓月・埼玉)



(合同演奏の様子)

*実施にご協力をいただいた宮本卯之助商店の宮本芳彦社長よりご寄稿いただきました。



宮本卯之助商店 代表取締役社長 宮本 芳彦

第1回大学太鼓フェスティバルが盛況のうちに開催されましたことをお慶び申し上げます。日本太鼓財団としてもジュニアコンクール後の太鼓環境の整備という課題に対して一つの道を示す意義深い公演となったと思います。本公演に先立つ事一年余、文教大学和太鼓部加藤雄大さんの発案で「大学和太鼓祭」が開催されました。加藤さんが弊社スタッフとして勤務していた事もあり、弊社より楽器提供はさせて頂いたものの、独力で他大学への声掛けや、少人数での運営など主催の大学生達には大変な苦勞がありました。ジュニアに比べ、大学生は親や学校からの支援を受け難い状況にあります。この点にかねてから問題意識をお持ちだった塩見理事長が彼らの

活動に着目され、此の度財団との共催という形で本公演の実現に至りました。大学生にとっては大会の継続発展に向けて大きく道が開けた事となり、財団としてもジュニア後の太鼓活動支援に一つの枠組みを得る事となりました。また本公演は演出や運営についても大学生の主体性が尊重され、育成という観点からも素晴らしい機会となっている事は特筆すべき点です。

来年度は文京シビックホールでの開催が決定しております。全国の財団加盟各位には、立ち上げに関わりました大学生達の想いにご理解を頂き、本活動の推進にご協力を頂ければ幸いです。弊社と致しましても、一会員として微力ながらご協力させて頂きたいと考えております。本公演を通じ、次代を担う太鼓奏者達が生まれ、日本太鼓の更なる発展に寄与する事を祈念しております。

第18回日本太鼓全国障害者大会 ～岐阜県大垣市で開催～

10月2日(日)第18回日本太鼓全国障害者大会を、岐阜県大垣市の「大垣市民会館」にて開催いたしました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、社会福祉法人富岳会共催、日本太鼓財団岐阜県支部主管のもと、厚生労働省、文化庁、岐阜県等地元の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、40年近く補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてこられました。この大会は1998年富岳会が静岡県御殿場市で「障害者太鼓演奏会」を開催されたのが始まりであり、翌年「より多くの団体にも出演の機会を」との声を受け、1999年より当財団との共催で全国大会として実施しております。

第18回目を迎える今回は、日本太鼓に積極的に取り組んでいる16都府県の27団体(出演者数約360名)が一堂に会し、日頃の練習の成果を力いっぱい披露しました。

今回は、「はばたけ手をつなぐ育成会『はばたけ鼓心』」(兵庫)と、「和太鼓 花の木組」(長野)が初めて参加しました。

また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の3チームは第1回大会以来、18回連続で出場をされています。各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて体験発表をし、自身の成長や、チーム内の変化などを一生懸命に語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、また全員が心から太鼓を楽しんで演奏をしている様子が印象的でした。

約800名におよぶ観客は、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手をおくっていました。

来年の第19回大会は2017年10月1日(日)に静岡県御殿場市の「御殿場市民会館」で開催されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



(初出場の「はばたけ手をつなぐ育成会『はばたけ鼓心』」・兵庫)

<出演団体一覧>

(出演順27団体) ☆初出場

- 1 岐阜 恵那のまつり太鼓
- 2 長野 諏訪どんどん太鼓
- 3 徳島 徳島県立国府支援学校和太鼓部
- 4 愛媛 四国中央いわくら太鼓ろうあ部会『鼓龍会』
- 5 京都 与謝の海ぶちあわせ太鼓
- 6 静岡 富岳太鼓竜神組
- ☆ 7 兵庫 はばたけ手をつなぐ育成会「はばたけ鼓心」
- 8 新潟 新潟ろうあ万代太鼓豊龍会
- 9 石川 石川県立明和特別支援学校龍剣太鼓
- 10 静岡 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム
- 11 兵庫 神戸ろう太鼓集団鼓神
- 12 静岡 伊豆医療福祉センターどんつく
- 13 富山 鼓友夢光組
- 14 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 15 大阪 山城ノ國和太鼓鼓絆「絆」
- 16 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 17 静岡 にこにこ青年講座風のひびき
- 18 山口 社会福祉法人同朋福祉会あそかの園同朋太鼓
- 19 福島 やまびこ太鼓
- 20 大分 大分県糸口学園 糸口太鼓
- 21 石川 社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓
- ☆ 22 長野 和太鼓 花の木組
- 23 大阪 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」
- 24 静岡 なごみ太鼓喜楽
- 25 京都 京都和太鼓龍船・昴
- 26 東京 大江戸助六流東京ろう和太鼓倶楽部「鼓友会」
- 27 岐阜 ファミリーユニット童鼓



(初出場の「和太鼓 花の木組」・長野)

次回は御殿場市民会館で開催！

第19回日本太鼓全国障害者大会は来年2017年10月1日(日)に静岡県御殿場市「御殿場市民会館」にて開催します。

第18回日本太鼓全国障害者大会を終えて

日本太鼓財団岐阜県支部 支部長 小坂 孫次

第18回日本太鼓全国障害者大会は10月2日(日)、大垣市において開催され、全国から27団体(出演者数約360名)が参加され盛会のうちに終わることができました。岐阜県支部として厚く御礼申し上げます。

岐阜県においては、第4回日本太鼓全国障害者大会を恵那市において開催しております。第1回から第3回までは静岡県御殿場市において開催されてきました。このような催しを全国に広げることを目標にして、第4回大会は地方開催の先がけとして恵那市で開催させていただきました。

恵那のまつり太鼓は1989年、富岳太鼓の指導を受けて発足し、地域の太鼓演奏の発展に尽力してきました。今回、岐阜県2回目となる大垣大会では、富岳太鼓のスタッフの皆さんと岐阜県支部の全面的な支援を受け、見事な連携により運営していただきました。

今大会は、前日も含めて曇りがちな日でしたが、全国各地からすでに顔見知りのメンバーたちが、声を掛け合いながら参加いただきました。次々と入れ替わる太鼓演奏は年ごとに上達し、この日のために一生懸命練習してきたことが、見てとれました。

当日は、岐阜県の障害者支援施設で作った食品の販売もし、地域の住民の皆様も買い物しながら、太鼓演奏を聴いていただくことができました。また、大会は予定より早く終了することが出来ました。出演されたメンバーが日頃の練習成果をいかに発揮するとともに、大会運営のスタッフの皆さんのスムーズな進行の賜とっております。

最後になりますが、このようなすばらしい機会を作っていただきました日本太鼓財団ならびに富岳会に感謝申し上げますと共に、今後とも継続いただくようお願い申し上げます。



初出場団体の体験発表をご紹介します。

「はばたけ手をつなぐ育成会『はばたけ鼓心』(兵庫) 小寺 晶子、田中 匠子

こんにちは。和太鼓チームはばたけ「鼓心(こころ)」と申します。兵庫県北部にある、コウノトリで有名な、豊岡市からやってきました。わたしたちが和太鼓を始めて、今年で7年目をむかえました。「元気に、楽しく、真剣に」をモットーに、週2回の自主練習と、月2回講師の先生に来てもらい、練習をがんばっています。

わたしたちのチームはA・B、2チームでできています。重い障がいを持つAチームのメンバーは、決まったリズムや曲を打つことはできませんが、これまで和太鼓に取り組んできて、ようやくみんなで揃って打ち始め、打ち終わることができるようになりました。Bチームは、とにかく和太鼓を演奏することが楽しくて、元気いっぱい練習をしてきました。

今日このステージで演奏できることを、メンバー全員とても楽しみにしてきました。わたしたちが一体となり、太鼓に思いをこめ、全身で表現することで、たくさんの人に何かを感じていただければ、うれしいです。

「僕と和太鼓」

「和太鼓 花の木組」(長野) 金田 竜彦

僕が和太鼓に出会ったのは、養護学校の高等部に入学し、寄宿舎に入った時でした。中学時代の僕は、何につけても自信がなく、雷が鳴ると掃除用具入れの中に隠れていました。

そんな僕が寄宿舎に入り、寄宿舎の活動の一つであった太鼓を皆と一緒にやり始めました。「なんだかおもしろいな」「僕だってできるじゃん」そんなおもいで始めました。

そんな時、とても幸運なことがありました。この年、故小口大八先生とお会いし、太鼓を教えていただくことができました。「太鼓はたたくもんじゃねえ。打つもんだ。胸を心を打つもんだ」この言葉は、今でも僕の中にしっかり入ってます。かっこよくななくても、リズムがうまく打てなくても、仲間と一緒に、一生懸命やっていることが心を打つ太鼓になるんだと、少しずつ思えてきました。

養護学校を卒業した後も、太鼓を続けたい思いが仲間を呼び、「和太鼓 花の木組」が発足しました。月に2回養護学校の体育館をお借りして練習に励んでいます。

社会人となり夏場は40度以上になる場所で働いています。「やだなあ・つらいな」と思うことや「うおう」と叫びたくなることもあります。でも、「日曜日太鼓がある。思いっきり打って汗を流すんだ。仲間と会えるんだ」と思うと、元気が湧いてきます。

僕は人の名前を覚えるのが苦手です。今も人の名前では苦労しています。しかし太鼓のリズムだけは、覚えることができます。自分でもとても不思議に思っています。太鼓のリズムが僕の体の一部になっているようです。

いつの間にか、人前で挨拶をしたり、今日のこの場で話すことができたり、仕事でも初めて自分の意見を言うこともできました。太鼓との出会いが、僕の生き方に自信を与えてくれました。そして一生懸命に頑張っている仲間と太鼓を打つことによって「うまい・へたではない『和』のこころ」を感じています。これからも仲間と「楽しく・元気」に太鼓を打っていきたいと思います。

＜第57回日本太鼓全国講習会（兵庫）＞

9月17・18日(土日)兵庫県支部主管による全国講習会を兵庫県神戸市の「神戸市立神戸セミナーハウス」にて実施いたしました。全国13都道府県から65名が受講しました。開会式では財団長谷川副会長と兵庫県支部桂支部長から励ましと歓迎の挨拶があり、講習会が始まりました。残暑厳しい中、受講生たちは合格を目指し一生懸命講習に励んでいました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
3級基本講座 安江 信寿
4級基本講座 若山 雷門
5級基本講座 松枝 明美

○専門講座 秩父屋台囃子講座 高野 右吉
八丈太鼓講座 菊池 修
締太鼓講座 長谷川 義

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 6名受験 6名合格(1名認定)
2級検定 7名受験 7名合格(3名認定)
3級検定 13名受験 13名合格・認定
4級検定 5名受験 5名合格・認定
5級検定 13名受験 13名合格・認定



(4級基本講座の様子)

＜第70回日本太鼓支部講習会（道西）＞

9月24・25日(土日)北海道道西支部主催による支部講習会が北海道岩見沢市の「幌向総合コミュニティセンターほっとかん」で行われました。今回は地元北海道から33名が参加しました。開会式では田中支部長、当財団大澤常務理事から歓迎と励ましの挨拶があり講習会が始まりました。秋晴れの中、受講生たちは熱心に受講していました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
5級基本講座 今池 薫

○専門講座講師 地獄太鼓講座 橋本 光司

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 2名受験 2名合格
2級検定 13名受験 13名合格(3名認定)
5級検定 16名受験 16名合格・認定



(5級基本講座の様子)

＜第10回台湾太鼓講習会＞

7月2・3日(土日)台湾太鼓協会主催の第10回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い「救國團復興青年活動中心」にて実施し、台湾全土から100名が受講しました。

開会式では、王理事長の挨拶に続き、総合指導の古屋技術委員長が講習会の内容を説明、日本からの講師を紹介して講習会がスタートしました。

○3級基本講座 松枝 明美
4級基本講座 渡辺徳太郎
5級基本講座 古屋 邦夫(総合指導)

今回は自費参加で高島奈々(岐阜)、高島笑美(岐阜)、三浦一浩(長野)、吉岡賢次(兵庫)の4氏が助手として活躍されました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 19名受験 19名合格・認定
4級検定 34名受験 34名合格・認定
5級検定 47名受験 47名合格・認定



(4級基本講座の様子)

公認指導員が誕生



(中野千恵子氏
矢倉太鼓保存会・静岡)



(春原夕紀氏
信州上田真田陣太鼓保存会・長野)

公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て、技術委員会で検討した結果、中野千恵子氏(矢倉太鼓保存会・静岡)、春原夕紀氏(信州上田真田陣太鼓保存会・長野)が1級公認指導員に昇級されました。

また、橋本幸子氏(郡山うねめ太鼓保存会・福島)が2級公認指導員、湯澤一樹氏(宇都宮和太鼓四面会・栃木)、萩原大輔氏(みのわ太鼓保存会・長野)、栄口カロリーナ氏(アルゼンチン太鼓協会)が3級公認指導員に承認されました。おめでとうございます。2016年10月31日現在、1級公認指導員は45名、2級25名、3級129名となりました。

今後の益々のご活躍を期待しております。

第6期公認指導員更新研修会欠席者(未更新者)の対応について

2015年度は公認指導員の更新研修会が4回に亘り行われました。更新対象者210名の内、168名が更新を終了、42名の欠席者の対応について、欠席の諸事情を勘案の上、塩見運営委員長と古屋技術委員長とで協議し、以下の通り対応することが委員会にて承認されました。

○出席を免除し更新手続きを行う者

- 1級公認指導員 6名 1-5高橋利雄(埼玉)、1-25田中誠一(米国)、1-26塚原茂夫(道東)、
1-31脇元勝己(鹿児島)、1-43蓑輪敏泰(宮崎)、1-46岡田博勝(京都)
2級公認指導員 3名 2-5貫井武雄(千葉)、2-29河野勇(埼玉)、2-30清原昭子(埼玉)
3級公認指導員 11名 3-32茅野英太郎(長野)、3-40大類好彦(山形)、3-86田中平一郎(佐賀)、
3-91甲斐伸一(宮崎)、3-110佐藤真由美(秋田)、3-115高橋あさ子(秋田)、
3-131安宅春美(秋田)、3-170東出南弥子(石川)、3-179蓑輪真弥(宮崎)、
3-186伊澤明子(静岡)、3-222山本雄二(ブラジル)

○資格停止とする者 4名 3-10遠藤一子(岩手)、3-169中島幸子(石川)、3-173赤羽昭二(長野)、
3-217橋本由紀(福島)

○降格とする者 2級公認指導員から3級公認指導員へ 3名
2-33辰巳弥(石川)、2-37北村吉則(石川)、2-56今井冽(熊本)

○現状維持とする者 1名 1級技術認定員 加藤真由美(鹿児島)* 3-144

○資格喪失とする者

- 2級公認指導員 8名 2-11山本喜己(三重)、2-23福野富子(長野)、2-24和田正人(岐阜)、
2-41堀田豊和(富山)、2-45坂田憲章(富山)、2-49高橋秀行(福井)、
2-58青木眞一(熊本)、2-61佐藤貢一(大分)

- 3級公認指導員 6名 3-41土橋君彦(山梨)、3-66小川秀文(千葉)、3-76片桐英博(長野)、
3-172中村三千代(東京)、3-184谷上悦子(大阪)、3-185山名利枝(大阪)

第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」を開催

11月20日(日)愛知県名古屋市の「名古屋国際会議場センチュリーホール」にて盛大に開催いたしました。詳細は次号(1月号)に掲載いたします。

主催:文化庁、愛知県、第31回国民文化祭愛知県実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団

主管:日本太鼓財団愛知県支部、愛知県太鼓連盟 オープニング演奏:愛知県太鼓連盟合同チーム(愛知)

公募団体:25団体(14都府県+台湾)

ゲスト団体:5団体(5都県) 手取亢龍太鼓保存会(石川)、御諏訪太鼓保存会(長野)、大江戸助六太鼓(東京)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)、蘭導(秋田)

太鼓団体が創立の節目を迎える

八丈太鼓六人会結成35周年記念公演を終えて

八丈太鼓六人会 会長 菊池 修

去る7月16日(土)、八丈島八丈町「おじゃれホール」にて、当会結成35周年記念公演が行われました。当日は、約300名以上のお客様をお迎えし、また財団の塩見理事長ご夫妻をはじめ、山下八丈町長ほか多くの御来賓の方々の臨席を賜り、盛会の内に終わることが出来たのは、ご支援いただいた多くの皆様のおかげだと感謝申し上げます。

さて公演は、八丈太鼓六人会のメンバー1人1人が、それぞれの思いの丈を太鼓にぶつけ表現し、その自由奔放な打ち方で御来場いただいた方々に、たくさんの拍手・かけ声をいただきました。

また、ゲストで御出演いただいた皆様方。八丈島ではあまりなじみのない御神楽という分野で、その妙技を見せていただいた尾張新次郎太鼓(愛知)、創作和太鼓の世界では、日本でも有数な存在である蘭導(秋田)の迫力ある演奏、そして2014年日本太鼓ジュニアコンクールで見事優勝を飾った岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)の演舞に、会場は歓声と拍手に包まれました。本当にありがとうございました。

残念ながら悪天候のため当日来島予定だった、助六太鼓(東京)の皆さんをお迎え出来ないというハプニングがありましたが、和太鼓の世界の奥深さを、そして改めて八丈太鼓のすばらしさを実感していただいた公演であったと自負しております。

今回の公演は、私たちに伝統芸能である八丈太鼓を今後とも守り传承していく責任があると強く実感する公演となりました。

今後とも、40周年、50周年を目指し努力研鑽して参ります。皆様の御指導・応援をよろしくお願い申し上げます。八丈太鼓は、常に呼吸し続け、古き伝統の中に新たな息吹を盛り込んで行くことを忘れません。



太鼓集団天邪鬼30周年にあたって

太鼓集団天邪鬼 代表 渡辺 洋一

本年、私共太鼓集団天邪鬼は創立より30年の節目を迎える事となりました。

こうして無事に30年の年を迎えられましたことは、設立当初より支えて下さった関係者の皆さま、今まで私共の公演に足をお運び下さった多くの皆様のお力添えがあってこそだと感謝しております。

私が初めて和太鼓を打って48年が経ちます。盆太鼓から太鼓人生を始め、東京の組太鼓を経て太鼓集団天邪鬼を設立し、こうして皆様の前で集大成となる演奏会ができましたことは、歩んで参りました月日を想い、明鏡止水の晴々とした心持しております。

30年の歴史のなかでも、日本太鼓財団にとっても大きなイベントでありました日系ブラジル移民100周年記念での1000人太鼓の総合指導を故小口大八先生と共にできた事は私の貴重な経験になりました。

芸道はまだまだ未熟ではありますが、設立した当初からの心意気だけは“常に上質な音を出せる和太鼓グループで在りたい”とメンバーと共に切磋琢磨してまいりました。私が永くひとすじに追い求める日本の音、まだまだ道半ばでございます。これからも日々精進を重ね、和太鼓の普及に貢献してゆきたいと思っております。



「鼓の語り」公演を終えて

大江戸助六太鼓 助六流宗家 小林 正道

お陰様で太鼓道60周年を迎えました。私は、過去を振り返る事は、あまり好きではありません。しかし、好きな道で60年…永い様で短い年月でございました。何故なら「好きである」という事は、何事にも打ち勝つエネルギーを与えてくれるものです。40度の高熱でも、人差し指骨折でも、額に10円玉程の穴があき、骨が見えた大ケガの時でも、舞台上に立ち、お客様に見て頂くという気持ちで、私の魂を奮い立たせてくれ、舞台を続ける事ができたのです。ありがたい事に、そんな私を「分かってくれている」弟子が沢山支えてくれております。

今回の公演も、現メンバー、門下生、元メンバー、元門下生、友人、後援会の方々の多大なご支援により、さらなる力を引き出して頂き、この様な、晴れがましい舞台に立たせて頂き、誠にしあわせなありがたい事でございます。

また、太鼓道に邁進する私に大きな力を与えて頂きました。これからの太鼓人生は、感謝と御礼の心で生かされるものだと思っております。



第13回ブラジル太鼓選手権大会が開催

7月10日(日)ブラジル太鼓協会主催の第13回ブラジル太鼓選手権大会がサンパウロにおいて1,100名の観客を集めて開催されました。

ジュニア部門14チーム、ミリン(12歳未満)部門10チーム、リーブレ(フリー)部門10チーム、マスター部門(35歳以上)5チームの合計39チームに加え、大太鼓部門9名、特別演奏(前年度優勝チーム等)が参加し盛大に行われました。

ジュニア部門では源流太鼓(サンパウロ州カパン・ボニート)が優勝を果たし、3月に開催するジュニアコンクールに出場することが決定しました。

ジュニア部門上位の結果は次の通りです。

- 優勝 源流太鼓
(サンパウロ州カパン・ボニート)
準優勝 清心太鼓(サンパウロ州ドラセナ)
第3位 光太鼓(ブラジリア)



(源流太鼓)

審査委員

(敬称略)

蓑輪敏泰(審査委員長・財団1級公認指導員)
山本雄二(財団3級公認指導員)、大石誠、
田中輝男、岡崎ヴァルテル、高野信太郎

10月9日(日)台湾で行われた第7回台湾ジュニアコンクールでは「葫蘆墩Smile太鼓團」が3度目の優勝を果たし、3月に開催するジュニアコンクールへの出場が決まりました。詳細は次号(1月号)にてお知らせいたします。

東京・虎ノ門一丁目琴平町会の夏祭り

8月5日(金)夕刻、当財団ビル最寄りの町内会である「虎ノ門一丁目琴平町会」の夏祭りが開催され、「邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア」と、日本財団関連団体関係者で構成された「和太鼓水心会」が演奏を披露しました。

オフィスビル街での夏祭りの太鼓演奏に、家路に向かう人々も足を止め、夏の暑さを一時忘れ楽しんでおられました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア)

12年余り務めて頂きました中西前常務理事より寄稿していただきました。



中西由郎 前常務理事(現・公益財団法人日本ゲートボール連合専務理事)

このたび(公財)日本太鼓財団の常務理事を退任いたしました。12年間の在任中、太鼓関係者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

長かったようでもあり、短かったようでもあった12年間でしたが、その間、小口副会長の事故死という衝撃的な出来事もありました。また、ブラジルにおける日本人移民100周年記念式典での1000人太鼓の糸乱れぬ演奏は、今でも強く脳裏に残っております。東日本大震災では、多くの会員の方が被災されました。破損・流出した太鼓を日本音楽財団並びに日本財団のご支援により、早い時期に揃えることができ復興に向けて太鼓の響きを打ち鳴らすことができました。海外公演にも幾たびか同行いたしました。日本の太鼓が多くの国の人々に愛され普及していることも驚きでした。

ジュニアコンクール、全国フェスティバルを始め数多いイベントを少ない事務局職員で支部・会員の皆様の協力を得ながら運営してきたことに感謝の気持ちで一杯です。

一方、近年の日本の太鼓界を取り巻く環境は、厳しいものがありますが、関係者が一致協力して太鼓界の隆盛、発展に努めていただきたいと思います。私自身、日本太鼓財団の非常勤理事としてこれからも微力ながら協力させていただくつもりであります。

財団は、来年創立20周年を迎え、人間で申せば成人となります。成人となった日本太鼓財団が更なる発展を遂げられることを心より祈念し、退任の挨拶といたします。

お世話になりました。

事務局だより

第73回日本太鼓支部講習会(岡山県岡山市)

期日：2017年1月14・15日(土日)

会場：岡山市サウスヴィレッジファーマーズハウス(岡山県岡山市南区片岡2468)

主催：日本太鼓財団岡山県支部

協賛：(公財)日本太鼓財団

5級基本講座(初心者講座) 古屋 邦夫(総合指導)

お問合せ：日本太鼓財団岡山県支部 河原 寛

携帯：090-4891-1438

第74回日本太鼓支部講習会(東京都港区)

期日：2017年2月4・5日(土日)

会場：日本財団ビル(東京都港区赤坂1-2-2)

主催：日本太鼓財団東京都支部

協賛：(公財)日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

お問合せ：日本太鼓財団東京都支部 湯澤 元一

基本講座 3級基本講座 松枝 明美

携帯：090-1996-2582

4級基本講座 三浦 一浩

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一

*講習会の詳細はホームページにて随時掲載いたします。

第58回日本太鼓全国講習会(福岡県久山町)

期日：2017年2月11・12日(土日)

会場：レスポール久山(福岡県糟屋郡久山町大字久原2603-1)

主催：(公財)日本太鼓財団

主管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団福岡県支部

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座 3級基本講座 安江 信寿 専門講座 御諏訪太鼓講座(複式単打法) 松枝 明美(長野)

4級基本講座 若山 雷門 助六太鼓講座(単式複打法) 今泉 豊(東京)

5級基本講座(初心者講座) 田中 俊己 源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義(大分)

講話「太鼓について」浅野 昭利(一般財団法人浅野太鼓文化研究所理事長)

お問合せ：日本太鼓財団福岡県支部

事務局長 田中 茂雄

申込先：公益財団法人日本太鼓財団 担当：印出、笠原

携帯：090-2395-2394

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

申込締切：1月25日(水)

Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

第13回日本太鼓シニアコンクール

期日：2016年12月4日(日) 開演14:00 終演予定18:00

会場：七尾サンライフプラザ(石川県七尾市本府中町ヲ部38番地)

入場料:無料

主催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社

主管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会

お問合せ：公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 担当：印出、笠原

Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

助成金交付事業の2017年度分を募集

太鼓事業の開催等に対して当財団が行っている助成金交付事業の2017年度については、次の通り予定しております。申請書類は当財団ホームページからダウンロードすることも可能です。

対象期間：2017年4月より2018年3月までの間に実施する事業

申請締切：12月26日(月) 助成金額：1事業あたり20万円

*詳細は、財団事務局(笠原)までお問い合わせ下さい。

公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

<http://www.nippon-taiko.or.jp> メール：info@nippon-taiko.or.jp

ジュニアコンクール予選・推薦の結果報告は11月末締切!!

2017年3月19日(日)兵庫県神戸市の「神戸国際ホール」で第19回日本太鼓ジュニアコンクールが開催されます。予選が終了した支部は11月30日(水)までに予選実施報告書・出演団体推薦書・出演申込書を提出して下さい。課題曲は全チームが確定後、年内に一斉送付致します。

なお、予選のない地域で出場を希望される団体は、財団事務局(Tel. 03-6229-5577)までご連絡下さい。